

平成30年度 公立大学法人首都大学東京 業務実績評価（素案）からの主な修正（案）

資料1

【全体評価】

No.	頁	該当箇所	評価素案	修正案	修正理由
1		四角囲み	(優れた点・特色ある点 1つ目の・) ・公立大学法人首都大学東京を取り巻く社会情勢や東京都の「見える化改革」の分析結果を踏まえ、令和2年度より大学・法人の名称を変更することを決定し、その名称変更方針や中期計画の変更案を早急に検討し、策定したことを高く評価する。	(優れた点・特色ある点 1つ目の・) ・公立大学法人首都大学東京を取り巻く社会情勢や東京都の「見える化改革」の分析結果を踏まえ、令和2年度より大学・法人の名称を変更する方針や中期計画の変更案を早急に検討し、策定したことは高く評価できる。	表現の見直し
2	(優れた点・特色ある点 2つ目の・) ・首都大学東京では、50歳以上を対象としたTMUプレミアム・カレッジの開講準備が進められ、多くの応募を得ることができた。生涯を通じて学ぶというスタイルを社会に対して発信し、人生100年時代の学びのあり方を牽引する取組として、発展していくことが期待される。		(優れた点・特色ある点 2つ目の・) ・首都大学東京では、 <u>教学IRシステムの掲載データが、平成29年度に比べ大幅に増加し、学長</u> の意思決定に活用されるとともに、 <u>入試戦略など各運営委員会や部局の施策の検討に利用され、大学の活性化に大いに役立っている点</u> が高く評価できる。	ヒアリングを踏まえ、内容の見直し	
3	(優れた点・特色ある点 3つ目の・) ・産業技術大学院大学では、グローバルPBLの充実を目指してテーマを公募し、採択された担当教員等はアジア各地やヨーロッパに派遣され、提案された主要テーマについて発表した。さらに、アジア・アフリカ地域の大学等との連携を深めている。		(優れた点・特色ある点 3つ目の・) ・産業技術大学院大学では、 <u>グローバルPBLの充実を目指し、アジア各地やヨーロッパでPBLを実施するとともに、アジア・アフリカ地域の大学等との連携を深め、PBL型教育を紹介することで、両地域の産業人材育成に寄与している点</u> が評価できる。	説明追加 表現の見直し	
4	(更なる充実が期待される点 1つ目の・) ・東京都との連携事業に係る収入が減少している中、東京都との連携事業数を増大させ、都政に貢献していることはおおいに評価する。一方、1事業当たりの東京都からの収入は減少しており、今後の発展に期待したい。		(更なる充実が期待される点 1つ目の・) ・公立大学法人首都大学東京の運営は、 <u>トップマネジメントの強化にとどまらず、各大学・高専の意向に沿った柔軟な対応ができるようにも配慮されている</u> 。今後も、各校が行う教育研究の質の向上を図る意欲的な取組をより一層支援していくことが望まれる。	ヒアリングを踏まえ、内容の見直し	
5	3	1 総評	(1つ目の・) ・平成30年度、公立大学法人首都大学東京(以下「法人」という。)の業務は、順調に進められた1年であったと評価する。特に、法人を取り巻く社会情勢や東京都の「見える化改革」の分析結果を踏まえ、令和2年度より大学・法人の名称を変更することを決定し、その名称変更方針や中期計画の変更案を早急に検討し、策定したことを高く評価する。	(1つ目の・) ・平成30年度は、公立大学法人首都大学東京(以下「法人」という。)の業務が、順調に進められた1年であったと評価する。特に、法人を取り巻く社会情勢や東京都の「見える化改革」の分析結果を踏まえ、令和2年度より大学・法人の名称を変更する方針や中期計画の変更案を早急に検討し、策定したことは高く評価できる。	表現の見直し
6	(【首都大学東京】2つ目の・) ・ <u>教学IR(Institutional Researchの略。大学の計画策定、意思決定等を支援するための情報を提供する目的で、教育・学修に関するデータを対象として調査・分析を行うこと。)</u> によるデータ分析は、平成29年度に比べ大幅に増加し、各運営委員会や部局の施策の検討、教育改善・改革への取組に利用され、活性化に役立っている。		(【首都大学東京】2つ目の・) ・ <u>教学IRシステムの掲載データが、平成29年度に比べ大幅に増加し、学長</u> の意思決定に活用されるとともに、 <u>入試戦略など各運営委員会や部局の施策の検討に利用され、大学の活性化に大いに役立っている</u> 。	説明追加 表現の見直し	
7	(【首都大学東京】3つ目の・) ・高レベルの研究論文が公表されているため、被引用論文割合は目標の10%以上を維持し、国際共著論文も47.6%と目標の33%を超える高さが、国際的な研究が予想を上回る速さで進められている。また、研究センター等での分野横断的・学際的な研究プロジェクトも順調に進めており、外部資金獲得研究費の目標である平成26～28年度の平均の150%以上を上回っている。		(【首都大学東京】3つ目の・) ・ <u>高いレベルの研究論文が公表されているため、被引用度の高いトップ10%論文の割合は目標の10%以上を維持している</u> 。また、 <u>国際共著論文の割合も47.6%と目標の33%を大きく超えており、国際的な研究が予想を上回る速さで進められている</u> 。さらに、 <u>研究センター等での分野横断的・学際的な研究プロジェクトも順調に進められており、外部資金獲得額の目標(平成26～28年度の平均獲得額比で150%以上)を上回っている</u> 。	説明追加 表現の見直し	
8	(【首都大学東京】4つ目の・) ・東京都との連携事業に係る収入が減少している中、東京都との連携事業数を増大させ、都政に貢献していることはおおいに評価する。一方、1事業当たりの東京都からの収入は減少しており、今後の発展に期待したい。		-	ヒアリングを踏まえ、内容の見直し	
9	(【産業技術大学院大学】1つ目の・) ・産技大では、AIITシニアスタートアッププログラムを開設し、シニア世代を対象としたリカレント教育の場を構築し、26名の修了生を輩出した。		(【産業技術大学院大学】1つ目の・) ・産技大では、 <u>シニア世代のリカレント教育の場であるAIITシニアスタートアッププログラムを開設し、26名の修了生を輩出した</u> 。	表現の見直し	
10	(【産業技術大学院大学】2つ目の・) ・国際化への取組として、グローバルPBLの充実を目指してテーマを公募し、採択された担当教員等はアジア各地やヨーロッパに派遣され、提案された主要テーマについて発表した。さらに、アジア・アフリカ地域の大学等との連携を深め、産技大PBL教育を紹介している。		(【産業技術大学院大学】2つ目の・) ・ <u>グローバルPBLの充実を目指し、アジア各地やヨーロッパでPBLを実施するとともに、アジア・アフリカ地域の大学等との連携を深め、PBL型教育を紹介することで、両地域の産業人材育成に寄与している</u> 。	説明追加 表現の見直し	
11	5		(【東京都立産業技術高等専門学校】2つ目の・) ・学生の課外活動支援として、 <u>未来工房、未来工房ジュニアの応募数が大きく拡大し、課外活動に積極的に取り組む学生が増大している</u> 。課外活動も学生の主体的な学びの大切な場となるとともに、多くの賞の受賞は対外的なPRともなっている。	(【東京都立産業技術高等専門学校】2つ目の・) ・ <u>学生グループによる課外活動を経済的に支援することで、未来工房及び未来工房ジュニアへの応募者数が大幅に増加するなど、課外活動に積極的に取り組む学生が増大している</u> 。これらの課外活動は学生の主体的な学びの大切な場の1つとなるとともに、多くの賞の受賞は対外的なPRにもなっている。	説明追加 表現の見直し

No.	頁	該当箇所	評価素案	修正案	修正理由
12	5	1 総評	<p>(【法人の業務運営等】1つ目の・)</p> <p>・長年の課題であった知名度向上、ブランド力向上策において、法人名・大学名の名称変更により、大きく推進する可能性が高まった。広報戦略の充実とともに、「情報発信」、「国際化」、「シニア層の学習ニーズの対応」に基づきながら、立ち上がった各種取組等が着実に推進されることが期待される。</p>	<p>(【法人の業務運営等】1つ目の・)</p> <p>・長年の課題であった認知度の向上やプレゼンスの向上が、大学・法人の名称変更により、大きく推進される可能性が高まった。広報戦略の充実とともに、「国際化」や「シニア層の学習ニーズ」等に対応するための各種取組が着実に推進されることを期待する。</p>	表現の見直し
13			<p>(【法人の業務運営等】2つ目の・)</p> <p>・法人運営は、トップマネジメントの強化にとどまらず、各大学・高専の意向に沿った柔軟な対応ができるようにも配慮されている点が評価される。今後も継続していくことが望まれる。</p>	<p>(【法人の業務運営等】2つ目の・)</p> <p>・法人運営は、トップマネジメントの強化にとどまらず、各大学・高専の意向に沿った柔軟な対応ができるようにも配慮されている。今後も、各校が行う教育研究の質の向上を図る意欲的な取組をより一層支援していくことが望まれる。</p>	表現の見直し
14	6	2 中期目標の達成に向けた課題、法人への要望など	<p>(4つ目の・)</p> <p>・東京2020大会開催が近づいてきており、2大学1高専では、大会のボランティア参加や障害者スポーツの普及振興を図るイベントの拡充など、機運も盛り上がってきていると思われる。学生として、教職員として、何らかの形で、多くの方が東京2020大会を実感できるようなイベントがあっても良いのではないかと。そのことが、帰属意識や問題意識を高め、日常の学修・教育・研究・経営活動に活かされることを期待する。</p>	<p>(3つ目の・)</p> <p>・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催が近づいてきており、2大学1高専では、大会へのボランティア参加や障害者スポーツの普及振興など、大会に対する機運が醸成されてきている。都立の2大学1高専の学生・教職員の多くの方が、大会を実感できるような機会を設けることで、帰属意識や問題意識が高まり、日常の学修・教育・研究・経営活動に生かされることを期待する。</p>	表現の見直し
15			<p>(2つ目の・)</p> <p>・首都大の科学研究費補助金の新規採択率は平成29年度及び30年度は、それ以前と比べ大幅に下がっている。平成28年度と比較すると申請数はほぼ同数だが、採択数が大きく減少している。学内での早急な分析・検討が必要であろう。</p>	<p>(4つ目の・)</p> <p>・首都大の科学研究費補助金の新規採択率は、国による研究種目の見直し等もあり、平成28年度以前と比較すると、低位に推移している。今後も学内で更なる分析を進め、様々な支援の検討が求められる。</p>	表現の見直し

【項目別評価】

No.	頁	該当箇所	大項目	評価素案	修正案	修正理由
(首都大学東京)						
1	8 ~ 9	I 1 教育に関する目標を達成するための措置	1	(優れた点・特色ある点) 【大項目1】学部・大学院を再編し、平成30年度からスタートした。新カリキュラムポリシーに基づく教育を実施するとともに、再編前のカリキュラムも着実に実施している。	(優れた点・特色ある点 1つ目の○) 【大項目1】平成30年度に学部・大学院を再編し、新カリキュラムポリシーに基づく教育を着実に実施している。	表現の見直し
2				(優れた点・特色ある点) 【大項目1】学生の主体的な学修をサポートする視点で、ウェブシラバスシステムの改修を行うとともに、教員向けのTA活用のためのeラーニング教材開発等を通じてTA制度の質向上を図るなど教育環境を改善している。	(優れた点・特色ある点 2つ目の○) 【大項目1】シラバスの整備やTA制度の充実を通して教育環境の整備に努めている。	表現の見直し
3				(優れた点・特色ある点) 【大項目2】教学IRによるデータ分析が前年度に比べ大幅に増加し、各運営委員会や部局の施策の検討、教育改善・改革への取り組みに利用され、活性化に役立っている。	(優れた点・特色ある点 6つ目の○) 【大項目2】教学IRシステムの掲載データが、平成29年度に比べ大幅に増加し、学長の意思決定に活用されるとともに、入試戦略など各運営委員会や部局の施策の検討に利用され、大学の活性化に大いに役立っている。	説明追加 表現の見直し
4				(優れた点・特色ある点) 【大項目2】平成29年度の自己点検・評価委員会の議論を踏まえて、博士後期課程の活性化に向けた取組が開始し、博士研究員制度、専門研究員制度の運用準備、キャリア形成科目の開講準備、キャリアパスの提示に関わる取組が進められた点が評価できる。今後、大学院生が、自身のキャリアについて考え、将来を展望できるように、引き続き、キャリア形成に関わる科目の充実、多様なキャリアパスの提示等が推進されることが期待される。	(優れた点・特色ある点 7つ目の○) 【大項目2】博士研究員制度、専門研究員制度の運用準備、キャリア形成科目の開講準備、キャリアパスの提示に関わる取組など、博士後期課程の活性化が進んだ。	ヒアリングを踏まえ修正
5				(優れた点・特色ある点) 【大項目2】博士後期課程の活性化について、今後、大学院生が、自身のキャリアについて考え、将来を展望できるように、引き続き、キャリア形成に関わる科目の充実、多様なキャリアパスの提示等が推進されることが期待される。	(更なる充実が期待される点 1つ目の○) 【大項目2】博士後期課程の活性化について、今後、大学院生が、自身のキャリアについて考え、将来を展望できるように、引き続き、キャリア形成に関わる科目の充実、多様なキャリアパスの提示等が推進されることが期待される。	ヒアリングを踏まえ修正
6				(優れた点・特色ある点) 【大項目4】精神障がい(発達障がい)や入学後に支援を求める学生に対する事務対応フロー、配慮申請書の作成により、配慮の必要な学生に対して、安心して学ぶ環境を整備するための体制強化を行った点が評価できる。	(優れた点・特色ある点 10つ目の○) 【大項目4】支援や配慮を必要とする学生に対する事務対応フローや配慮申請書の作成により、安心して学ぶ環境を整備するための体制を強化した。	ヒアリングを踏まえ修正
7				(優れた点・特色ある点) 【大項目5】教学IR等を活用し、入試の分布、アンケートの分析結果を用いて、入試制度の検討や既存の入試制度の見直しを行った。	(優れた点・特色ある点 12つ目の○) 【大項目5】教学IRを活用し、入試結果の得点分布やアンケートの分析結果を用いて、既存の入試制度の見直しと新たな入試制度の検討を行った。	説明追加
8	9 ~ 10	I 2 研究に関する目標を達成するための措置	(更なる充実が期待される点) 【大項目6】学術研究成果を都民へ発信する機会としてオープンユニバーシティ特別講座が開講されているが、高校生向けに講座を開講するための準備が進められている点が評価できる。高校生に対して大学のPR機会とともに、キャリア形成支援に資することから、開講に向けて、引き続き準備が進むことが期待される。	(優れた点・特色ある点 3つ目の○) 【大項目6】都民に学術研究成果を発信する機会として既に開講しているオープンユニバーシティ特別講座に加え、高校生向けに講座を開講するための準備が進められている。	ヒアリングを踏まえ修正	
9			(更なる充実が期待される点 1つ目の○) 【大項目6】オープンユニバーシティの高校生向け講座については、高校生に対する大学のPR機会となるとともに、キャリア形成支援に資することから、今後の取組に期待する。	ヒアリングを踏まえ修正		
10			(改善すべき点) 【大項目7】科学研究費補助金の新規採択率は平成29年度及び30年度は、それ以前と比べ大幅に下がっている。平成28年度と比較すると申請数はほぼ同数だが、採択数が大きく減少している。学内での早急な分析・検討が必要であろう。	(改善すべき点 1つ目の○) 【大項目7】科学研究費補助金の新規採択率は、国による研究種目の見直し等もあり、平成28年度以前と比較すると、低位に推移している。今後も学内で更なる分析を進め、様々な支援の検討が求められる。	表現の見直し	
11	10	I 3 社会との連携や社会貢献等に関する目標を達成するための措置	(更なる充実が期待される点) 【大項目8】学内施設である体育館等を有効に利用し、障害者スポーツの理解促進・寸草野拡大に向けた取組を実施している。バラスポーツをより多くの人が楽しむことができるように、更なる参加者の拡大や自治体と連携した事業の充実が期待される。	(優れた点・特色ある点 1つ目の○) 【大項目8】学内施設である体育館等を有効に利用し、障害者スポーツの理解促進・掘野拡大に向けた取組を実施している。	ヒアリングを踏まえ修正	
12			(更なる充実が期待される点 1つ目の○) 【大項目8】バラスポーツをより多くの人が楽しむことができるよう、自治体と連携した事業の充実など、更なる取組が期待される。	ヒアリングを踏まえ修正		
13			(更なる充実が期待される点) 【大項目8】東京都との連携事業に係る運営費交付金及び外部資金収入が減少している中、東京都との連携事業数は増大しており、都政に貢献している点をおおいに評価する。一方、1事業当たりの東京都からの運営費交付金及び外部資金収入が減少していることは問題である。連携事業を推進し、大学の知見を都政に還元するのであれば、適正な研究費の獲得が必要である。今後の発展に期待したい。	(優れた点・特色ある点 2つ目の○) 【大項目8】東京都との連携事業に係る運営費交付金及び外部資金収入が減少している中、東京都との連携事業数は増大しており、都政に貢献している。	ヒアリングを踏まえ修正	
14			(更なる充実が期待される点 2つ目の○) 【大項目8】東京都との連携事業を推進し、大学の知見を都政に還元するには、適正な規模の事業経費を獲得することが重要である。今後の発展に期待したい。	ヒアリングを踏まえ修正		

No.	頁	該当箇所	大項目	評価素案	修正案	修正理由
15	10	I 3 社会との連携や社会貢献等に関する目標を達成するための措置	9	(優れた点・特色ある点) 【大項目9】50歳以上を対象としたTMUプレミアムカレッジの開講準備を進め、充実したプログラムのほか、効果的な広報、イベントの効果もあり、50名定員のところ329名の応募を得ることができている。生涯を通じた学びの機会の提供に対し、大学の特性を活かした高齢期の魅力的な学びの場として確立していくことが期待される。	(優れた点・特色ある点 3つ目の○) 【大項目9】50歳以上を対象としたTMUプレミアム・カレッジの開講準備を進め、充実したプログラムのほか、効果的な広報やイベント等の効果もあり、50名定員のところ329名の応募を得た。	ヒアリングを踏まえ修正
16				(更なる充実が期待される点 3つ目の○) 【大項目9】TMUプレミアム・カレッジが、大学の特性を生かした、高齢期の魅力的な学びの場として確立していくことを期待する。	ヒアリングを踏まえ修正	
17	11	I 4 グローバル化に関する目標を達成するための措置	10	(優れた点・特色ある点) 【大項目10】中長期留学の阻害要因や課題について、学生の意識調査を元に分析するとともに、特に課題として大きいと思われる留学費用等の経済面の支援に関する情報提供の充実や、経済支援学生数の拡大を行った点が評価できる。海外留学等派遣者数をみると、平成29年度と比較して、長期の留学生数が32人から46人に増加しており、長期留学生の拡大につながっている。	(優れた点・特色ある点 1つ目の○) 【大項目10】中長期留学の阻害要因や課題について、学生の意識調査結果を分析するとともに、特に課題である留学費用等の経済面の支援に関する情報提供の充実や、経済支援学生数の拡大を行った。	表現の見直し
18				(更なる充実が期待される点) 【大項目10】受入留学生数は着実に増加している。引き続き、受入留学生数を増やすための効果的な広報活動の分析や充実が期待される。	(優れた点・特色ある点 2つ目の○) 【大項目10】日本留学フェアへの出席等の広報展開や、都市外交人材育成基金の活用により受入留学生数は着実に増加している。	ヒアリングを踏まえ修正
19				(更なる充実が期待される点 1つ目の○) 【大項目10】引き続き、受入留学生数を増やすための効果的な広報活動の分析や充実が期待される。	ヒアリングを踏まえ修正	
20				(優れた点・特色ある点) 【大項目11】新たに国際交流プログラム「グローバル・コミュニケーション・キャンプ」を立ち上げ、学内に公募し、採択されたプログラムに学生及び教員が参加した。65名の学生が参加し、そのうちの51名に対して経済支援を行った。発展を期待したい。	(優れた点・特色ある点 4つ目の○) 【大項目11】新たに国際交流プログラム「グローバル・コミュニケーション・キャンプ」を立ち上げ、学内公募で採択されたプログラムに、65名の学生が参加した。	表現の見直し
(産業技術大学院大学)						
21	12	II 1 教育に関する目標を達成するための措置	15	(更なる充実が期待される点) 【大項目15】キャリアメンターの制度設計を行い、試行的に実施した。課題が見つかった場合のメンター役に対するバックアップ体制等、本格実施に向けての体制整備の推進が期待される。	(優れた点・特色ある点 7つ目の○) 【大項目15】キャリアメンター制度の設計を行い、試行的に実施するなど、きめ細やかなキャリア形成支援を行う体制を整えた。	ヒアリングを踏まえ修正
22				(更なる充実が期待される点 2つ目の○) 【大項目15】キャリアメンター制度について、課題が見つかった場合のメンター役に対するバックアップ体制等、本格実施に向けた体制整備が期待される。	ヒアリングを踏まえ修正	
23	13	II 3 社会との連携や社会貢献等に関する目標を達成するための措置	18	(優れた点・特色ある点) 【大項目18】都や区市町村と連携して、自治体等が主催する講座やイベントに参加し、企業振興や技術支援に貢献している。また、自治体職員の研修に教員が講師として出席し、行政の推進に寄与している。	(優れた点・特色ある点 1つ目の○) 【大項目18】都や区市町村と連携して、自治体等が主催する講座やイベントに参加し、企業振興や技術支援に貢献している。また、教員が自治体職員等の研修に講師として参加し、人材育成に貢献している。	表現の見直し
24				(優れた点・特色ある点) 【大項目19】シニア世代を対象としたリカレント教育プログラムとして、AIITシニアスタートアッププログラムを開設した。	(優れた点・特色ある点 2つ目の○) 【大項目19】シニア世代のリカレント教育の場であるAIITシニアスタートアッププログラムを開設し、26名の修了生を輩出した。	説明追加
25				—	(優れた点・特色ある点 3つ目の○) 【大項目19】リカレント教育を促進する取組の一環として、修了後も大学と修了生、あるいは修了生同士が繋がり、修了後の専門能力の向上を図る場である修了生コミュニティの実施体制を整えた。	ヒアリングを踏まえ追記
26	13	II 4 グローバル化に関する目標を達成するための措置	20	(優れた点・特色ある点) 【大項目20】グローバルPBLについて、アジア諸国に加えて、新たにイギリスのグラスゴー美術大学における取組が採択され、グローバル化の拡大を図ることが出来ている点が評価できる。	(優れた点・特色ある点 1つ目の○) 【大項目20】アジア諸国に加え、イギリスのグラスゴー美術大学でグローバルPBLを実施するなど、新たな取組を推進している。	表現の見直し
27				(優れた点・特色ある点) 【大項目20】アジア・アフリカ地域の大学等との連携を深め、両地域の産業人材育成に寄与するよう、産技大PBL教育を紹介し、内容について活発な議論を行った。エジプトやボツワナ等のアフリカ諸国との交流も進められている。	(優れた点・特色ある点 2つ目の○) 【大項目20】アジア・アフリカ地域の大学等との連携を深めるとともに、視察を多数受け入れるなど、PBL型教育を紹介することで、両地域の産業人材育成に寄与している。	表現の見直し

No.	頁	該当箇所	大項目	評価素案	修正案	修正理由
(都立産業技術高等専門学校)						
28		III 1 教育に関する目標を達成するための措置	21	(優れた点・特色ある点) 【大項目21】情報セキュリティプログラム修了生10名全員が、進学または企業への就職するなど、産業界や社会の人材ニーズに応じた新たな職業教育プログラムを着実に実施した。	(優れた点・特色ある点 1つ目の○) 【大項目21】情報セキュリティプログラム修了生10名全員が、進学又は情報セキュリティ関連企業へ就職するなど、産業界や社会のニーズに応じた人材を輩出している。	説明追加 表現の見直し
29				(優れた点・特色ある点 2つ目の○) 【大項目21】航空技術者育成プログラムにおいて、第一期生全員が航空機関連企業へインターンシップを行うなど、取組が着実に進んでいる。	ヒアリングを踏まえ 追記	
30				(優れた点・特色ある点) 【大項目21】国際的に活躍できる技術者の育成に向けて、再編した2つの海外体験プログラムで、シアトルに40名、シンガポールに30名(首都大、産技大の6名を含め)の合計70名の学生が参加した。渡航前後教育を含め、丁寧な指導により、確実に生徒の能力が向上している。	※大項目29の評定説明に移動	大項目29に移動
31	13 ~ 14			(優れた点・特色ある点) 【大項目24】学生の課外活動支援として、未来工房、未来工房ジュニアの応募数が大きく拡大し、課外活動に積極的に取り組む学生が増大している点が評価できる。	(優れた点・特色ある点 8つ目の○) 【大項目24】学生グループによる課外活動を経済的に支援することで、未来工房及び未来工房ジュニアへの応募者数が大幅に増加するなど、課外活動に積極的に取り組む学生が増大している。	説明追加 表現の見直し
32				(更なる充実が期待される点) 【大項目24】メンタル面の課題について、多面的に情報提供を行い、予防や適切な対応に結びつけている。相談ニーズを踏まえた、相談・バックアップ体制を充実させる等、安心して学ぶことのできる環境整備が進むことを期待する。	(優れた点・特色ある点 9つ目の○) 【大項目24】学生のメンタル面の課題について、多面的に情報提供を行っている。また、課題を抱える学生には、関係者が連携を取りながらチームで対応するなど、予防や適切な対応に結びつけている。	説明追加 表現の見直し
33				(更なる充実が期待される点) 【大項目25】女子学生確保に向けた取組を評価する。引き続き女子中学生向けの広報を充実させて、志願者確保につながることを期待される。	(優れた点・特色ある点 11つ目の○) 【大項目25】女子学生確保に向けて、ホームページへの女子学生インタビューの掲載、学校見学会や説明会での女子学生向けブースの開設等を行った。	ヒアリングを踏まえ 修正
34			(更なる充実が期待される点 2つ目の○) 【大項目25】引き続き女子中学生向けの広報を充実させて、志願者確保につながることを期待される。	ヒアリングを踏まえ 修正		
35	14	III 2 研究に関する目標を達成するための措置	26	(更なる充実が期待される点) 【大項目26】科学研究費について、申請件数は減少したものの、採択率が向上し、前年並みの件数が採択されている。引き続き、申請書類作成の支援等を充実させることで、申請件数を増やしていくことが期待される。	(更なる充実が期待される点 1つ目の○) 【大項目26】科学研究費補助金について、新規採択率が向上したものの、申請件数は減少していることから、申請書類作成の支援等を充実させることで、申請件数を増やしていくことを期待する。	表現の見直し
36		III 3 社会との連携や社会貢献等に関する目標を達成するための措置	27	(優れた点・特色ある点) 【大項目27】中学生を対象とした体験型情報セキュリティ研修を実施し、志望校決定の契機や高専への受験・合格にもつながっている。	(優れた点・特色ある点 1つ目の○) 【大項目27】中学生を対象とした体験型情報セキュリティ研修を実施し、中学3年生の参加者14名中10名が入試に合格するなど、志望校決定の契機となっている。	説明追加 表現の見直し
37	15		(優れた点・特色ある点) 【大項目27】学校や企業を対象とした出前授業を積極的に行うとともに、自治体が主催するイベントに、理科や技術のサポーターとして支援し、好評を得ている。	(優れた点・特色ある点 2つ目の○) 【大項目27】学校や企業を対象とした出前授業を積極的に行うとともに、国や自治体等が主催するイベントを理科・技術サポーターとして支援した。	表現の見直し	
38			(優れた点・特色ある点) 【大項目28】地域のものづくり技術者に向けた「若手技術者支援のための講座」を開催し、多くの参加者があった。また新たに、中小企業のニーズに対応したオープンカレッジ講座を開始した。	(優れた点・特色ある点 3つ目の○) 【大項目28】大田区及び品川区と連携して、地域のものづくり技術者に向けた講座を開催し、多くの参加者を得るとともに、新たに、中小企業のニーズに対応したオープンカレッジ講座を開始した。	説明追加 表現の見直し	
39	15	III 4 グローバル化に関する目標を達成するための措置	29	(優れた点・特色ある点) 【大項目29】再編した2つの海外体験プログラムを実施し、目標通りの参加者があった。現地企業等へのフィールドワーク、現地学生交流、英語プレゼンテーションを行い、参加者の満足度は高かった。	(優れた点・特色ある点 1つ目の○) 【大項目29】国際的に活躍できる技術者の育成に向けて再編した2つの海外体験プログラムで、合計70名の学生(首都大及び産技大の6名を含む。)が参加した。渡航前後の教育を含め、丁寧な指導により、確実に学生の能力が向上している。	大項目21から移動

No.	頁	該当箇所	大項目	評価素案	修正案	修正理由
(法人運営等)						
40		IV 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置	30	(優れた点・特色ある点) 【大項目30】監事監査の強化、監査・内部統制担当者の配置を評価する。	(優れた点・特色ある点 2つ目の○) 【大項目30】監事監査を強化するとともに、コンプライアンスの確保・向上のため、監査・内部統制担当者を増員した。	説明追加 表現の見直し
41				—	(更なる充実が期待される点 1つ目の○) 【大項目30】広報戦略の充実とともに、「国際化」や「シニア層の学習ニーズ」等に対応するための各種取組が着実に推進されることを期待する。	ヒアリングを踏まえ 追記
42				(更なる充実が期待される点) 【大項目32】テレワークの環境整備を行い、テレワーク、テレビ会議システムの試行を行った点が評価できる。試行結果を踏まえ今後の本格実施に向けて、テレワーク運用ルール作り、職員への周知等を行い、ライフ・ワーク・バランスに資する職員の多様な働き方が進むことが期待される。	(優れた点・特色ある点 6つ目の○) 【大項目32】業務の効率化やライフ・ワーク・バランス推進のため、テレワークやテレビ会議システムの試行を行った。	ヒアリングを踏まえ 修正
43				(更なる充実が期待される点 3つ目の○) 【大項目32】テレワークの本格実施に向け、試行結果を踏まえた運用ルールづくり、職員への周知等を行い、ライフ・ワーク・バランスに資する職員の多様な働き方が進むことが期待される。	(更なる充実が期待される点 3つ目の○) 【大項目32】テレワークの本格実施に向け、試行結果を踏まえた運用ルールづくり、職員への周知等を行い、ライフ・ワーク・バランスに資する職員の多様な働き方が進むことが期待される。	ヒアリングを踏まえ 修正
44	16 ～ 17	V 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置	33	(更なる充実が期待される点) 【大項目33】インターネットを介して寄附ができる仕組みを導入する等、一般寄附金の増収に向けた取組を実施しているが、寄附件数は少ない。寄附目的を明確にし、同窓生や保護者をはじめ、多くの方に支援していただけるような仕組みが必要。	(更なる充実が期待される点 4つ目の○) 【大項目33】インターネットを介して寄附ができる仕組みを導入するなど、一般寄附金の増収に向けた取組を実施しているが、寄附件数は少ない。寄附目的を明確にし、同窓生や保護者をはじめ、多くの方に支援していただけるような仕組みづくりが期待される。	表現の見直し
45		VII その他業務運に関する重要目標を達成するためにとるべき措置	35	(更なる充実が期待される点) 【大項目35】ハラスメント防止の意識啓発について、研修、リーフレット作成等、多様な方法で取り組んでいる点が評価できる。相談内容から課題を分析し、効果的な防止策や相談支援体制が充実していくことが期待される。	(優れた点・特色ある点 10つ目の○) 【大項目35】ハラスメント防止の意識啓発について、研修、リーフレット作成等、多様な方法で取り組んでいる。	ヒアリングを踏まえ 修正
46				(更なる充実が期待される点 6つ目の○) 【大項目35】ハラスメント相談内容から課題を分析し、効果的な防止策や相談支援体制を充実させていくことが期待される。	ヒアリングを踏まえ 修正	
47				(更なる充実が期待される点) 【大項目35】研究不正防止・公的研究費不正使用防止に向けた取組に、より一層努めていただきたい。研究不正行為は許されないことであると同時に、大学のイメージダウンとなることを認識し、研究不正が発生しない体制や仕組みづくりが徹底されることを期待する。	(更なる充実が期待される点 7つ目の○) 【大項目35】研究不正行為・研究費不正使用の防止に向けた取組を、より一層進められたい。研究不正行為・研究費不正使用が発生すると、大学・高専のイメージダウンとなることを深く認識し、不正が発生しない体制や仕組みづくりが徹底されることを期待する。	表現の見直し
48				(優れた点・特色ある点) 【大項目35】情報セキュリティ及び個人情報保護について、過去の教訓を活かして取り組んでいる。	(更なる充実が期待される点 8つ目の○) 【大項目35】情報セキュリティ及び個人情報保護について、過去の教訓を生かして取り組んでいるが、過去に事故が起きた部署のみならず、法人全体として対策の一層の徹底に取り組まれたい。	更なる充実に向けた 記載の追加